

# 上之御殿エリア整備について

1. 西側擁壁の整備方針
2. 西側擁壁の整備について
3. 施工例（円覚寺、平和祈念公園）

# 1.西側擁壁の整備方針

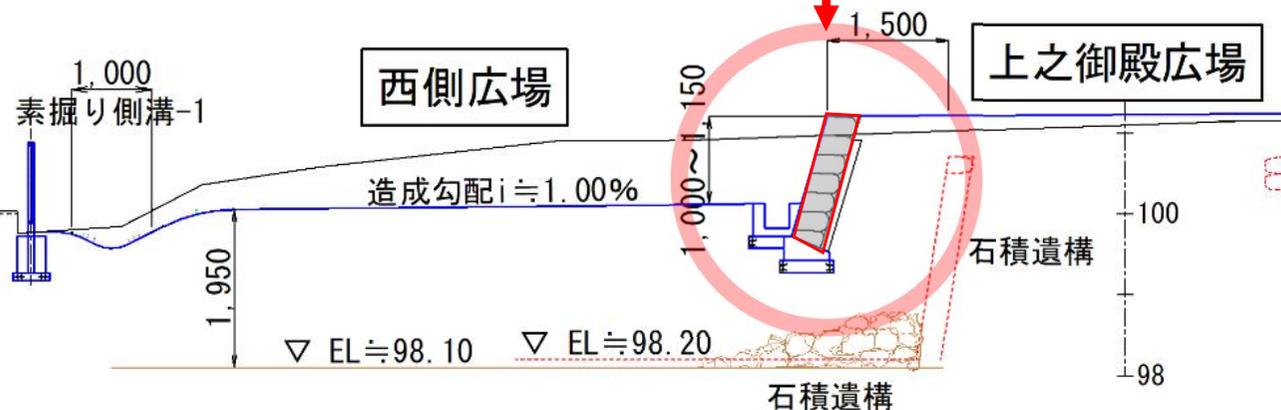
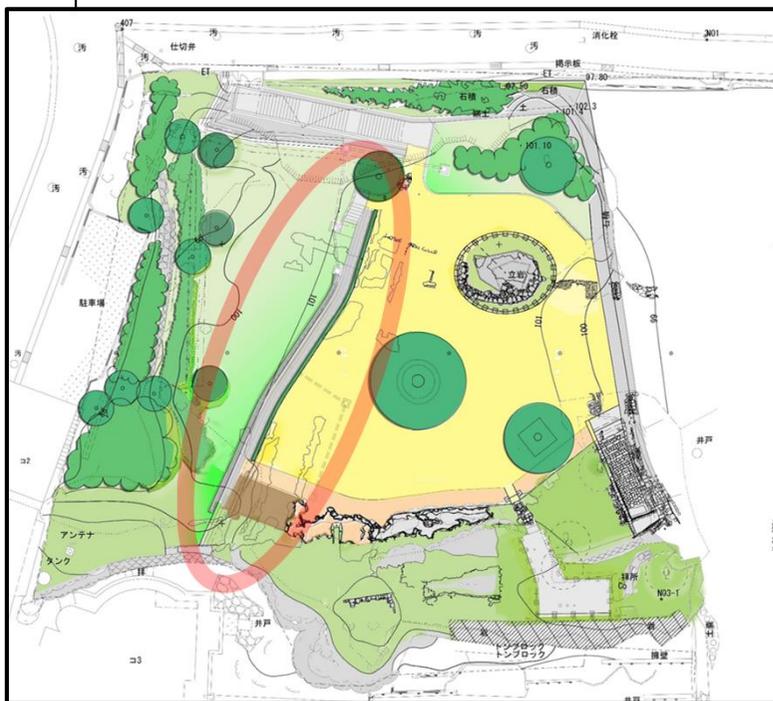
再掲\_令和4年度第2回検討委員会資料

## (4) 西側広場計画

### 【西側広場の造成計画】

- 上之御殿広場と西側広場間に往時あった旧地形（段差）を表現するために新規石積を設置する。
- 新規石積は、石牆遺構より約1.50m前面に設置し、中城御殿の景観に馴染む仕上げを行うものとする。
- 西側広場の計画高は、植栽を考慮して旧地盤高より約1.5m以上の離隔を確保する。
- 西側広場は、旧地盤を再現するため可能な限り平坦とする。

### ■西側広場標準断面図



## 2. 西側擁壁の整備について (課題)

### 施工検討 (案)



### 【課題】

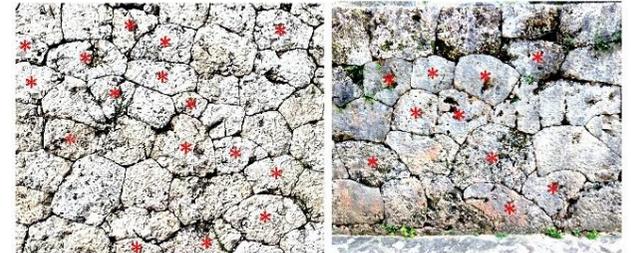
石の形や大きさが、中城御殿の往時の石積みと異なる  
(扇形や多角形で丸みがあるものが多い)

### 参考例 (往時の石積み)

「\*」は、扇形の石を示す



中城御殿跡



天王寺跡

伊是名御殿墓



2. 石牆1 (トレンチ4北端、西から) \* 扇形 多角形石も丸みを帯びる。



伊江殿内

沖縄県埋文2021『中城御殿跡 (8)』

18~19世紀の石積み事例 \* 扇形が普及。19世紀の中城で典型的に発達。

## 2. 西側擁壁の整備について（事務局案）

### 【事務局案について】

（積み方）

- ・往時の積み方を再現するため、**扇形（多角形・丸み）を部分的に配置**する
- ・直近の事例として、**円覚寺の施工例を参考とする**

（施工の進め方）

- ・サンプルを制作し委員会関係者へ共有 ⇒ 現場着手

往時の西側石積み



施工案（円覚寺）



### 3. 施工例（円覚寺、平和記念公園）

#### ①円覚寺



(施工時期)

・2010年～2013年

(特徴)

・部分的に扇型がみられ、形は正方形に近く丸みがある

#### ②平和祈念公園



(施工時期)

・2020年～2021年

(特徴)

・石上部及び下部に丸みがみられ、形は長方形に近く、一部布積みのような箇所がある